

まち&街

NPOニュース No.15
2024年8月



発行: NPO法人 鹿島田・新川崎まちづくりの会

理事長: 大野彰 連絡先: 佐藤好行 080-1225-6411

南武線連続立体交差事業 地権者への個別説明始まる

川崎市は遅くとも年内には事業認可を取得する想定で、地権者への個別説明を始めています。2年前の意向調査で「早めの移転」と回答のあった地権者を優先して説明を行なっているようです。また市は、用地取得業務や移転等に関する相談対応について民間活用する考えで、今年度中に業者を選定するとしています。

高架化に必要な土地の地権者は約310名

いよいよ用地取得が始まるという段階で市からの説明が充分とは言えません。私たちNPOは地権者の不安や意見を市につたえるべく地権者アンケートに取り組んでいます。無記名で結構です。ご協力をお願いします。

《 想定されるスケジュール 》

7月 都市計画審議会

8月～9月 都市計画決定

年内 県知事による都市計画事業認可
事業着手(用地取得開始)

～2028年度 高架化に必要な用地取得

～2039年度 高架化工事に必要な用地
以外の用地取得

※現時点における想定の対象件数及び権利者数

地権者/事業期間	計画期間	対象件数	権利者数
総計	令和6年度～21年度	約450件	約560名
高架化に必要な用地	令和6年度～10年度	約250件	約310名
上記以外に必要な用地	令和11年度～21年度	約210件	約250名

大切にしたいこと: 地権者の不利益にならないように!

😊 街のつづやき <南武線とともに>

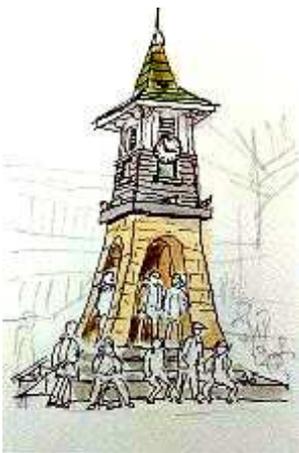
家の前には南武線が走っています。子供のころから南武線とともに、生きてきました。南武線連続立体交差事業がにわかに具体化の様相を呈し、我が家も立ち退きの対象となっています。踏切の渋滞緩和や、交通網の整備のためには、必要な事業とは分かっていますが、いささか複雑な心境ではあります。移転先の確保を強く望みたいと考えています。 東小倉在住 H.Y



2024年6月22日 まちづくり講演会の様子
2024年度かわさき市民公益活動助成金事業

😊 心のつづやき

鎌倉へ行くと、小町通りの方へ出ることが多いのですが、反対の改札を出ると、駅前にこんな時計塔があるのをご存知でしょうか?ちょっと洒落た塔で、この日は小学生の団体の集合場所になっていました。



J R東日本南武線連続立体交差事業地権者アンケート

地権者の不利益にならないよう川崎市に要望を出しますので、ご協力をお願いします。

Q1. 事業にかかる権利は何ですか。（いくつでも）

土地所有 建物所有 借地 借家 その他（ ）

Q2. 権利の利用状況を教えてください。（いくつでも）

戸建て住宅 集合住宅 店舗 事業所 駐車場 その他（ ）

Q3. お持ちの権利のうち事業にかかる割合を教えてください。

25%未満 25%以上 50%以上 75%以上 全部

Q4. 川崎市からどのような説明がありましたか。

個別に説明を受けた 文書通知のみ 何も連絡がない その他（ ）

Q5. 転出の時期をどのようにお考えですか。

なるべく早く 急がない 動くつもりはない その他（ ）

Q6. 転出する場合の解決すべき条件は何ですか。（いくつでも）

転出先 評価額 事業継続できる環境 家族の合意 その他（ ）

Q7. 事業について要望することは何ですか。（いくつでも）

川崎市による用地提供（代替地、仮店舗等）

市営住宅等への優先斡旋

川崎市独自の補助・融資制度

事業計画内容の変更・見直し

第三者の信頼できる相談窓口の設置（不動産、法律専門家などアクセス）

市中銀行からの無担保無保証による借入制度

権利者個別対応とは別に全体説明会の開催

補償のルール・事業スケジュールの説明

その他（ ）

Q8. その他、感じていることなどありましたらご記入下さい。

さしつかえなければお名前、連絡先をご記入下さい（無記入でも結構です）

お名前：

連絡先：